

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下68番地 津山文化センター内 名称 公益財団法人津山文化振興財団 代表者 理事長 浮田 佐平
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	72,887人(前年度83,064人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業及び共催事業) 音楽会,映画会,演劇,ミュージカル,コンサート,建物見学会,ステージラボ等 ・年間稼働率94.20%(前年度97.3%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 45,708千円(前年度48,248千円) 指定管理料 23,245千円 利用料金収入 21,739千円 その他の収入 724千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 39,802千円(前年度42,555千円) 主な支出 人件費 17,853千円 光熱水費 5,232千円 修繕・消耗品費等 1,784千円 委託料 11,528千円 負担金・公租公課 1,003千円 その他 2,402千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・建物は50年の歴史を感じさせ現在では表現できない良さがある。 ・利用者が高齢者のため,階段の上り下りが大変負担。 ・エスカレーターかエレベーターの設備が欲しい。 ・駐輪場がない。 ・冷暖房の効きが悪い。
(2) 指定管理者の自己評価	・施設見学など多様な事業を実施し,多くの市民に愛される開かれたホールを作りを目指している。 ・技術提供はもちろん職員が積極的にアドバイスを行っている。 ・今後は自主事業の更なる充実と若者層の集客力アップに取り組みたい。

<p>(3) 市の評価</p>	<p>本年度は津山文化センターが開館して50年が経過した節目の年であった。指定管理者として記念事業実行委員会を組織し、1年をとおして子供から大人まで多くの市民に喜ばれる公演事業を精力的に行った結果、国際音楽祭が行われた昨年には及ばないものの、利用者数や稼働率において、高い数字を出している。</p> <p>収支についても、指定管理者の努力により黒字決算となり、健全な財政状況であることが見受けられる。</p> <p>今後においては、利用者のニーズを反映した事業を積極的に行うとともに、スタッフの様々な経験や知識を活かした取り組みに期待したい。</p>
-----------------	---